

研究講習事業報告

学発番号: 学21-003

事業名: 臨床化学免疫血清研修会

日時: 令和3年5月25日(火) 18:30~20:00

場所: Web開催

主題1: TSHのハーモナイゼーションについて

講師1: 細川 秀明 氏(富士フイルム和光純薬株式会社)

参加数: 総数:27名(京臨技会員:23名)

報告者: 岡崎 一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

今回は甲状腺に関連する疾患の解説、診断フロー、検査データの判断方法(乖離例を含む)を解説して頂きました。甲状腺関連項目はバランスが大事であるが治療のタイミングによって困難な場合が多いとの事でした。また、TSHのハーモナイゼーション対応が進めれているが補正係数や基準値等まだまだ順調に進んでいないという状況を知る事が出来ました。甲状腺の判読は苦手とする技師が多いため今後も定期的に企画したいと考えます。

む)など  
て判断が  
が試薬の  
腺検査